

編集・発行／社会福祉法人 湯浅町社会福祉協議会

〒643-0005 和歌山県有田郡湯浅町栖原 126 湯浅町地域福祉センター内

TEL：0737-63-5175 FAX：0737-63-3304 WEB：http://www.yuasa-shakyo.or.jp/

homepage



facebook



めざせ！
おもちゃドクター！



かんれん き じ けいさい
P11に関連記事を掲載しています。

ゆあさちょうしゃかいふくしきょうざい しゃきょう じゅうみん みな みづか かん とうこう
湯浅町社会福祉協議会では、「社協だより」を住民の皆さまに身近に感じていただけるよう投稿
しゃしん ぼしゅう こ えがお じゅうみんどうし こうりゅう しゃしん
写真を募集しています。子どもたちの笑顔や住民同士のふれあい、交流をテーマにした写真で
ひょうし かざ みな ごころあたた しゃしん ま
表紙を飾ってみませんか？ 皆さまからの心温まる写真をお待ちしております。



世代超え広がるやさしさ、思いやり…

今年も町内の小中学生を対象に、「高齢者とのふれあいや交流」をテーマに作文募集を行ったところ419点の作品が寄せられました。

9月29日に開催致しました「湯浅町敬老会」では、特選に選ばれた作品より中勇人さん・畑六花さん・前田百愛さんに作文の朗読をしていただき、北村友さんに賞状の受け取りを行っていただきました。応募いただいたみなさんの作文からは高齢者との交流を通じて感じたことや学んだこと等、心と心でつながる作品が多数寄せられました。

また、次ページより特選の作品の中から、5点ご紹介させていただきます。

①名前 ②学校・学年 ③表彰 ④作文タイトル



①山下 恵旦
②湯浅小学校2年
③社協会長賞
④「ぼくのおじいちゃん」



①中 勇人
②湯浅小学校3年
③老人クラブ会長賞
④「ぼくのおじいちゃん」



①畑 六花
②田村小学校4年
③町長賞
④「近所のお店」



①奥山 蒼大
②湯浅小学校5年
③町議会議員賞
④「おじいちゃんとおじいちゃん」



①廣谷 颯真
②湯浅小学校6年
③町教育長賞
④「体験を通して感じたこと」



①原 愛乃
②湯浅中学校1年
③公民館長賞
④「地域との関わり大切さ」



①前田 百愛
②湯浅中学校2年
③社協会長賞
④「長生きしてね、おばあちゃん」



①北村 友
②湯浅中学校3年
③社協会長賞
④「高齢化が進む世の中で」

令和5年度 老人福祉作文「準特選」入賞者

学校名	学年	氏 名	学校名	学年	氏 名	学校名	学年	氏 名
湯浅小	1年	大谷 晏加	湯浅小	4年	松原 遥	湯浅中	1年	嘉成 菜月
田栖川	1年	北村 光湖	湯浅小	4年	平井ひまり	湯浅中	1年	山崎 望花
湯浅小	2年	加藤 千尋	湯浅小	5年	吉田真里奈	湯浅中	2年	籠谷 彩香
田村小	2年	蜂谷 柊太	湯浅小	5年	谷口 琳音	湯浅中	2年	北野 明奈
田村小	3年	大畑 陽葵	田村小	6年	炭原 綺斗	湯浅中	3年	田中 杏実
田栖川	3年	千川 雅人	湯浅小	6年	的場 雄亮	湯浅中	3年	井上 日光

令和5年度 老人福祉作文「審査員」

千福 啓資	野下 康雄	下向 田持	楠本 秀行	森口千鶴子
垣内 淳	増元 貞夫	見矢 義夫	生田 俊示	

【老人大学長賞】

「わたしのおじいちゃんとおばあちゃん」

たむらしょうがつこう 一ねん みやしたさき

わたしのおじいちゃんは、おとうさんといいしよにみかんのしごとをしています。あついひもさむいひもしごとをがんばっています。おじいちゃんのつくるみかんは、とてもおいしいです。ことしはやくふゆにならなかなとたのしみです。おじいちゃんのいえには、おとうさんがむかしあそんでいたおもちゃがあります。おじいちゃんはおかしがすきで、いつもわたしにもおかしをくれます。でも、おじいちゃんはおからだがわるく、なんかいもにゆづいんしているの、むりをしないです。

わたしのひいおばあちゃんは、九十一さいです。りょうりやせんたなど、じぶんのことをしています。あうといつも「さきちゃん、げんきかあ。」ときいてくれます。むかしは、ひいおばあちゃんもみかんのはこづめのしごとをてつだっていました。ひいおばあちゃんも「ことしのみかんがたのしみだ。」といっていました。

わたしは、おとしよりにはしんせつにしたいです。おじいちゃんとおばあちゃん、いつまでもげんきでいてね。

【社協会長賞】

「ぼくのおじいちゃん」

湯浅小学校 二年 山下けいた

ぼくのおじいちゃんは、ぶつだん店をしています。はんばいやはいたつ、かんたんしゆりもしています。ときどきおもちゃともなおしてくれます。上手

におしてくれてすごいなとおもいます。

おじいちゃんは、いそがしいけど、ぼくとたくさんあそんでくれます。とくに回りしよづきをしてよくあそびます。おじいちゃんとするあそびは、どんなことでもたのしいです。

おじいちゃんは、やきゆうが大すきです。中でも巨人がすきです。巨人のしあいは、まい日テレビでみています。

おじいちゃんは、高校生のときやきゆうをしています。わか山けんのベストナインにえらばれたこともあるそつです。それで、ぼくに、ボールのなげ方やしり方を教えてくれます。ぼくもやきゆうがすきなので、おじいちゃんみたいに上手になりたいです。

おじいちゃんは、りょうりもくいです。スイートポテトや、ほしがき、すじこん、ごまめ、チャーハン、とてもおいしいです。スイートポテトとほしがきは、ぼくも手つだつて、しよにつくります。

ぼくは、夏休みや土日、おじいちゃんとしよにねます。ねる前に、うらしまたうつなどのむかし話、とよとみひでよしのれきしの話をしてくれます。足のマッサージもしてくれて、気もちがよくて、ぼくは、すぐにねてしまひます。

おじいちゃんは、いつもぼくの話をよく聞いてくれます。

ぼくは、やさしいおじいちゃんが大好きです。元気でずつと生きていてほしいです。

【町議会議長賞】

「おじいちゃんおめい」

湯浅小学校 五年 奥山 蒼大

ぼくのおじいちゃんはおゆつりがしゆ味です。毎年

葉杖体験をしてみても、段差がある所は、こわいし、気をつけて歩かないといけないと思いました。

ぼくが五年生の時に、車イスとアイマスフ体験をしました。車イスも簡単にそう作できると思っていました。たが、やってみると、思った以上にうでの力を使い、とてもしんどかったです。介助する際に注意する点は、下り坂は、車イスに乗っている人がこわがらないように、後ろ向きで降りることを知りました。アイマスフ体験は、いつも歩いている道なのに、思った以上に道が広く長く感じました。それ以上に、目が見えないことが、これほどこわいことだと勉強になりました。

ぼくはいろいろな体験をしてみても、体の不自由な人がいると、声をかけたりして、助けられる人になりたいです。

【公民館長賞】

「地域との関わり大切だ」

湯浅中学校 一年 原 愛乃

私が、地域との関わりでいいなと感じたことが、二つあります。

一つ目は、自分がおじいちゃん、おばあちゃん家に入ろうとすると、「あいのちゃん、大きくなったね。」と声をかけられたことです。なぜ、このことがいいと思ったかという、この声をかけてくれた人は、小さい時にずっと遊んでくれた地域のおばあちゃんだからです。昔、当たり前のように遊んでくれたおばあちゃんはずごく優しく、今でもその記憶はわすれられない思い出です。そんな、おばあちゃんに久しぶりに会つと、昔とはだいぶ変わった姿になっていました。後ろにいたおじいちゃんに聞くと、「おばあちゃんは認知症になったんだ。」と言ひました。一瞬、不思議に思ひました。

あゆをつついい時期になるとおじいちゃんはおゆこんでつりに行きます。つりに行く時は、朝早くから出ばつしておそい時は夜の7時までつってくることもあります。ちょうど、あゆがかつた時にはお昼も食はずにあゆをつり続けています。そんなあゆつりが大好きなおじいちゃんを見て、いつもぼくはすごいなと思ひます。自分の好きなものにたいしてのめりこむことができるのがうらやましいです。ぼくはおじいちゃんがつりを教えてくれたことがきつかけで、つりが好きになりました。ときどきすはらの海岸でつりをします。ぼくは、まだおじいちゃんみたいに上手にすることはできないけれど、おじいちゃんみたいに魚をいっぱいつりたいです。早くあゆつりにもいきたいけれど、おじいちゃんは、「まだ、あかん。」と言ひます。あゆつりは技術があるので、今のぼくにはまだつれないと思ひているみたいです。ちょっとくやしけれど、ぼくもおじいちゃんみたいに上手につつてみたいです。

あゆがつれた時にはいつもぼくの家にあゆをとどけてくれます。おじいちゃんががつたあゆを食べると、夏が来たなと感じます。塩焼きにして食べるあゆは最高においしいです。おじいちゃんに、「あゆおいしかった。」と伝えると、「そつか、よかったよ。」といつも言ひてくれます。

これからも健康に気をつけてあゆをつつてほしいです。おじいちゃん、川は流れがはやくなつたり水かさかふえたりするところもあるから流されないうようにしてください。ぼくは今年もおじいちゃんのおゆを楽しみに待ひています。

認知症なのに、なぜ私の名前を覚えてるのかと。それについてそのおばあちゃんに聞くと、「あいのちゃんが、小さい時によく遊んだのを覚えていて、いつも助けてもらつていたよ。だから、覚えてるんだよ。」とおばあちゃんが答えました。まさか、自分がそんな風に思われているということを知らなかつたから、すぐびつくりしました。でも、地域のおばあちゃんが遊んでくれたことつてすごかりがたいことだと私は思ひ、またこれから恩返ししたいと思ひました。

次に二つ目は、私が習っているお琴の発表会についてです。私がお琴を初めて約十年たつた今、心に残っているのは、発表会です。なぜかという、お琴つてあまり小さい子がやらないイメージがあつて、私はそのイメージを変えたいというきつかけで始めたからです。そして、発表会であることを言われたきつかけで、続けてよかつたな、地域の人に見てもらふことができよかつたなと思ふことがありました。それは、あるおじいちゃん、おばあちゃんに言われたことで、「まだ若いのに、お琴をひいてるのめつちやかつたよ。よかったよ。小さい時の発表会から見させてもらつてるけど、今日のは今までで、一番すごかつたよ。」と言ひてもらひました。今までお琴を続けてきてよかつたなと思ひました。成長をみてもらえて、すぐうれしかつたし、今までの地域との関わりの中で、一番いろんな人とかかわれたんじゃないのかなと思ひました。

これからも、この地域との関わりを増やしていきたいし、ボランティア活動に参加していきたいと思ひました。そして私が一番うれしかつたのは、成長をみてもらえることだとわかりました。

令和5年度 老人福祉 作文入選作品紹介

【町教育長賞】

「体験を通して感じたこと」

湯浅小学校 六年 廣谷 颯真

ぼくの祖母は、去年の五月にみかんの木から落ちて、右太たい骨を複雑骨折しました。

それからは、ひざが曲がりにくくなり、車も運転できず、何ヶ月もの間、家の中や外で松葉杖を使って、歩いていました。今では買ひものなど、長いきよりを歩くとさだけ松葉杖を使い、それ以外はかべなどを持つて、よたよた歩いています。そんな状態でも、毎日半日みかん畑に行き、みかんの仕事をしています。ふ通に歩くのも大変なのに、草や石などたくさんある、歩きにくい山で、畑仕事をしているすがたを見て、ぼくだったら休むのになと思ひました。

今年の6月に一緒に梅取りをしました。ぼくは祖母に、「足大じょう夫、ここに石があるよ。」などと、声をかけながら、心配しながら、一緒に梅取りをしました。祖母はたくさん取れた梅を見て、「ありがとつ。」とよろこんでくれました。

ある時、ぼくは祖母のおいていた松葉杖を借りました。一度歩く体験をしてみたかつたからです。使う前は簡単にあつかえると思ひていたけど、想像していた以上にむずかしうつがいているなと思ひました。そして、階段や段差がある場所などは、こわいと感じました。ふと、気になり、祖母の家を見回しました。すると、祖母の家は古い家で、バリアフリーではなく、一部屋一部屋に段差があり、足が悪いと部屋に入るのも大変だと思ひました。段差に足が引つかり、転げた事もあるそつです。今までは、祖母の家の段差が危ないと思ひたことがなかつたけれど、祖母が骨折をして、松

いつも ありがとう です。

9月10日(日)やすらぎボランティアの方々を
対象に、日頃からのお手伝いに対して、感謝の
気持ちを込めて「やすらぎ夕涼み会」を開催し
ました。

コロナの影響もあり、4年ぶりの開催となり
ましたが、新しくなった地域福祉センターで
縁日形式の食事やゲームなどで楽しいひとと
きを過ごしていただきました。

やすらぎ夕涼み会



社協では、やすらぎボランティアさんを随時募集しています♪
ボランティアに関心や興味がある方は社協(63-5175)までお問い合わせください。

ケアマネさんに聞いてみた!

認知症介護 こんな時どうする?

65歳以上の方で介護が必要になった原因は認知症が最も多くなっています。
認知症の症状はそれぞれ特徴があり、場合によっては接する事が難しく思うこ
ともありますが、理由や状況を把握することで対応しやすくなることもあります。
ここでは、対応の例を一部紹介させていただきます。参考にしてみてください。



Q

何度も同じことを
聞かれたら

記憶障がいにより記憶が消去されてしまうため、不安を感じて
何度も同じ事を確認してきます。そんな時は、いったん受け止めて
話を聴き、初めて聞かれたように答えると本人さんは安心します。

状況がわからず
混乱しやすい

思考力や計画力が低下すると、先の事が予測できなくなり、どの
ように行動したらよいのかわからなくなり混乱してしまいます。
今から何が起るのかを短文で伝えましょう。

デイサービスへ
通ってほしいが本人は
「必要ない」と拒否する

本人さんが信頼している病院の先生など、家族以外の人から
助言してもらおうと聞き入れてくれる場合があります。
「趣味など、自分の好きなことをするために行く」といった別の
目的を設定したり、本人さんの中のマイナスのイメージがプラス
に変わるように工夫してみましょう。

感情のイメージは残ります。



記憶障がいにより、出来事の内容は忘れても、その場で味わった感情
や雰囲気などは残ります。「嬉しい、楽しい」などプラスのイメージが
残るように言葉を選んで話しましょう。





今年も開催！
やすらぎ
敬老会！

「やすらぎ」では、9月14日(木)～16日(土)に敬老会を開催しました。やすらぎ劇団による寸劇やカラオケで、利用者さんの笑い声と笑顔があふれる時間になりました。これからも、みなさんの心に寄り添い楽しく過ごして頂けるように、いろんな企画を考えていきますので、よろしくお願い致します。



こんにちは！

ヘルパーほほえみです！

元気な長生き!!

～私たちはいつも寄り添います～



私たちヘルパーは、利用者さんが長年暮らしてきた思い出のあるご自宅に安心して自分らしい生活を送れるようお手伝いさせてもらっています。
住み慣れたご自宅であっても、歳を重ねるにつれ段差や間取りなど、生活に不自由や不便を感じるようになるものです。
福祉用具なども利用して、いつまでもご自宅で安全に過ごしていただけるよう、ヘルパーもケアマネさんと一緒に考えながら生活をサポートさせていただきますね。

敬老の日



長寿祝いの赤飯をお届けしました♪
いつまでも元気でいてくださいね！



ほ うもんすれば
ほ っこりと
え がおがかよう
み りよくのしごと♡

ともに学ぼう、備えよう!

夏ボラ中学生防災学習

夏休み期間中に開催した「夏のボランティア体験学習」では、各地で頻発する自然災害に対して、日頃から防災への意識を高めてもらうことを目的に、防災学習の中でワークショップを行いました。



ペットと一緒に避難所へいけるのかな。



なにを用意しておこうかな～



食料はどれくらい用意しておこう?



スマホがなかったらどうしよう



防災バッグの中身をみんなで考えました。

今回、6月に湯浅町でも被害があった「台風2号豪雨災害」を振り返りながら、自分たちで考え、話し合い、みなさん真剣に取り組まれていました。突然やってくる災害。これから「自助」「互助」の意識を大切に、日頃から備えておこう。

生活支援コーディネーターが行く修理を通して、気持ちつながるおもちゃドクター養成講座開催



9月7日、壊れたおもちゃの修理を通して、子どもたちに「ものを大切にする気持ち」を伝えるおもちゃのお医者さん【おもちゃドクター】を養成する、「おもちゃドクター養成講座」を開催し、19名の方々が受講されました。当日は、わかやまおもちゃ病院院長の小林修治先生をはじめ、はしもとおもちゃ病院ドクターの方々をお迎えし、おもちゃドクターの心構えや活動、修理の基礎を学びました。



心構えや活動について



修理の基礎



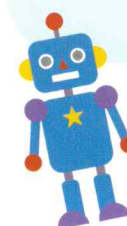
実技講習



養成講座おつかれさまでした!

今回、受講頂いた方々で、今後おもちゃ病院の開設に向けて取り組みを進めていきます。活動にご協力頂ける方は生活支援 CN (コーディネーター) まで、お問合せください。

お問い合わせ先 湯浅町社会福祉協議会 TEL 0737-63-5175
生活支援 CN: 神田 谷口



「生活支援コーディネーター」は、日常生活での支え合いなどを発見しながら、つながり作りのお手伝いをさせて頂いています。

「ゆらりちりめんの会」作品展を開催!!



地域ふれあいサロン「ゆらりちりめんの会」のみなさんが、この作品展に向けて作成したちりめん飾りを展示します。みなさま、ぜひご来場ください!

と き：11月16日(木)～28日(火)

と ころ：北町ふれあいギャラリー

展示時間：午前9時～午後5時(※22日(水)は休館日)

サロン名 ゆらりちりめんの会

と き 毎月第2日曜日(月1回) 午後1時30分～3時30分

と ころ ゆあさちようちいきふくし 湯浅町地域福祉センター

参 加 費 200円～(材料費) 準備物：針と糸などの裁縫道具

内 容 毎回、わきあいあいとしんなちりめん飾りを作っています。初心者の方でも大歓迎です!一緒に可愛いちりめん小物を作りませんか?

「地域ふれあいサロン」紹介! “明恵サロン”編

地域での支え合いやつながりを深める「ふれあいサロン」...

湯浅町では住民のみなさんの力によって運営されるサロンが11か所設置され、毎月元気に活動してくれています。

今回は、笑いの絶えない栖原地区の“明恵サロン”へお邪魔してきました!



サロン名 明恵サロン

と き 毎月第1水曜日(月1回) 午後1時30分～3時

と ころ 栖原区民センター

参 加 費 100円～(お茶代) ※別途材料費が必要になる月もあります。

内 容 健康づくりや手芸をしたり、みなさんでおしゃべりしながら楽しく過ごしています。みなさんのご利用心よりお待ちしております。

地域ふれあいサロンに関するお問い合わせ・ご相談は...

湯浅町社会福祉協議会生活支援コーディネーター(神田・谷口)までお願いします。

ゆあさちよう

ろうじんだいがく

湯浅町老人大学



短歌教室作品ご紹介!

令和5年8月25日 総合センター

みなさんも一緒に大学生活を楽しみませんか?



老人大学では町内の60歳以上の方を対象に毎月1回活動しています。

老人大学に関してお聞きしたいことがありましたら湯浅町社協(63-5175)までお問い合わせください。

— 題 詠 —

『飛』

辞書・財布・カメラに通信万能のスマホの飛躍手の平に秘む
敵機飛来空襲警報鳴り壕に逃げる戦時下のわが日常なりし
清水湧く池の飛び石向こうまで梅花藻ゆれて小鮒遊べり
大空に魔術師あるか白雲の形が次からつぎへ変はりぬ
孟蘭盆に飛ぶ瑠璃色の夏燕別れを前に憂ひの滲む
飛行場へ娘と孫送り夏休み終わりほっとし盆を迎える
飛び上がるほどの喜びこれまでに幾たびありしや空を見上ぐる
うぐいすは庭の木に来てさえずりぬ吾に気づけば藪へ飛びゆく
盆前の習い生け垣刈り込みて疾風に飛び去る枝葉追いたり
吾の視線を察したるのか庭の目白す早く飛び去る いじめはせぬに

山田千代子
岩 寄 弥生
竹島通支子
上山 久雄
兵野 勉
市間 圭子
大西真千子
池田美佐子
北野 恵子
脇中佐智子

— 詠 草 —

この夏も里より届きし採れたての巨峰さながら紫水晶
近所の軒のあわいに遠く見ゆ集落われをいざなう如し
酷暑なか夜空いろどる大花火ドーンウォーと一刻の涼
はさみとは思はず箸と思ひるむ蟹は食べもの口に運びぬ
生花店年四回の紋日には家族総出に仏花を括る
首のばすキリンに餌をおずおずと手を出す孫の初の冒険
終戦日吹鳴に祈り合掌す引き揚げ労苦の女性身罷りぬ
菜園のなすびに時々すずめ来る何があるのか興味津津々
帰省せし貴男がいるから嬉しくてゆつくり出来ない台風の盆
白き堀にしがみつきたる空蟬に容赦なく射す夏の太陽

山田千代子
岩 寄 弥生
竹島通支子
上山 久雄
兵野 勉
市間 圭子
大西真千子
池田美佐子
北野 恵子
脇中佐智子

心配ごと相談所かいせつ開設について (弁護士)

相談無料

秘密厳守



開設日時

令和5年11月7日(火) 午前9時30分～11時30分

開設場所

湯浅町地域福祉センター

- 事前予約は10月2日(月)からの受付となります。
- 弁護士相談は午後1時からとなります。弁護士への相談は10件までとなります。
尚、弁護士相談を希望される方は、必ず心配ごと相談(午前中)に一度お越し頂き相談内容を取りまとめる必要がありますので予めご了承ください。
- お申込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会までお願いします。

令和5年10月・11月の予定

10月 3日(火)：心配ごと(公証人)相談(地域福祉センター)

11日(水)：あいうえおサロン(地域福祉センター)

22日(日)：しらゆりキッチン(地域福祉センター)

27日(金)：老人大学(総合センター)

28日(土)：老人体育祭(方津戸コミュニティ広場)

11月 7日(火)：心配ごと(弁護士)相談(地域福祉センター)

8日(水)：あいうえおサロン(地域福祉センター)



各種お問い合わせ先…湯浅町社会福祉協議会までお願いします！

電話：63-5175 FAX：63-3304 メール：yuasashakyo-361@violin.ocn.ne.jp